



# 大島支部隊 隊長交替

## 久保健市隊長から井上康広隊長へ

災害救援ひのきしん隊鹿児島教区大島支部隊では2月4、5の両日、コロナ禍で3年来実施していなかった年度訓練に代えてミニ訓練を実施。のべ52人(女子班含む)が出動して旧芦恵分教会(奄美市名瀬佐大熊町)内の什器、建具等の搬出、処分を行いました。

また、これに先立つ結隊式で、この訓練を最後に12年間務めた久保健市隊長が勇退するこ



**2010年4月13日 大島分教会で再結成式** 支部災害対策委員長である加世田洋支部長から久保隊長以下41名に辞令が手渡された。



**2010年4月29日 デビュー** 全教一斉ひのきしんデーの奄美市赤崎公園会場で隊服を着て実動。以来、ほぼ毎年、会場設営から終了後の刈り取った草の積み込み、搬出等、ひのきしんデーを支えてきた。

**2010年10月20日 奄美豪雨災害発生** 23日に加世田陽子大島分教会長夫人と有志が龍郷町戸口のようにぼく宅へ駆け付けたのを始め、その後災救隊本部長が来島して正式出動となり、鹿児島教区隊の27名も来島。奄美



とを発表。加世田洋支部長が新隊長となる井上康広・美和名分教会長に辞令を交付。井上隊長が副隊長となる恵善哉大朝分教会長、大喜信人真大富分教会長を紹介しました。

久保隊長と共に再結成以来12年間事務局長(庶務)を務めた井上隆文理風分教会長の後任は、加世田勇大島分教会役員。

加世田洋支部長は久保隊長時代の12年を振り返って隊長と隊員を労い、井上隊長を芯とした大島支部隊の発展、活躍に期待を示しました。

市役所住用支所や老人施設、被災教会、個人宅などで25日間にわたって、のべ344救援活動を展開。ユンボ、ダンプ、トラック等も投入して大いに活躍しました。

**2011年3月5・6日 初の年度訓練-チェーンソー講習会** 奄美豪雨災害出動の経験から久保隊長は自費で上鹿し指導者資格を取得。再結成後初の年度訓練で「チェーンソー取扱者講習」、座学に続いて大畑で樹木を伐採し駐車場を整備。この後、ほぼ毎年年度訓練、公共地の整備などに尽力してきた。

**2011年3月11日 東日本大震災** 久保隊長ら3人が4月24日のフェリーに7トン・2トンダンプと救援物資を載せ出動。鹿児島教区隊10人合流、さらに救資を積み900<sup>キ</sup>。走破。おちばで加世田支部長、三津井副支部長合流、さらに900<sup>キ</sup>。走り宮城県に赴き、5日間にわたりガレキの除去などを行った。

**2011年9月龍郷町浦水害** 有志出動

**2011年11月2日奄美大島南部豪雨災害** 女子隊5名を含む31名が6日、瀬戸内町蘇刈に出動。水を被った家具や畳の搬出、運搬と汚泥の除去などに尽力し、感謝された。

**2012年7月九州北部豪雨被災地に出動** 7月20日から23日まで鹿児島教区隊と共に、久保隊長以下5名が熊本県阿蘇市

## 久保健市隊長

### 結隊式における退任あいさつ

2010年の春に大島支部隊を再結成しましたら、その秋に奄美豪雨災害が発生しました。私はサラリーマンでしたので、すぐに動けなかったし、支部長も丁度おちばに上られたところでしたが、留守を守っていた陽子奥さん、そして隊員の皆がはせ参じてくれて、ちょうどいい時期に再結成したんだなと思ったものでした。

再結成に関しては井上隆文理風分教会長が声を上げ、支部長ほか多くの方々も賛同し、協力して隊服も新しく整えましたし、「天理教災害救援ひのきしん隊」という思いで再結成することができました。

奄美豪雨災害の後、翌年の春には東日本大震災が発生しました。トラックに援助物資を積んで宮城県まで行かせていただきました。鹿児島教区隊と共に大島支部の精鋭が活躍し、大島支部隊の素晴らしさを内外にアピールしました。

その後に熊本地震も起きましたし、10年の間に本当にいろんなことが起き、待っていたかのように我々も出動しました。それからの3年はコロナで、しかも何もなく有り難かったのですが。一番直近では平田町の火事場の片付けをさせていただきました。被災者の方にも大変喜んでいただきました。

に出動。汚泥の除去、家具の搬出など行った。

**2013年3月刈払い機取扱者講習** チェーンソーに続いて刈払い機の取り扱い講習を実施。これを期に厚労省所管の資料を基に、注意点をまとめたパワーポイントを制作。後に本部がビデオに編集しなおして、全隊に配布した。

**2013年2月1・2日奄美市古田町の火災現場に出動** 1月25日に発生し9軒が焼損した被災地は、重機やトラック等が入れない住宅密集地。市危機管理室からの要請で2月1日、2日のべ50名が出動(女子班含む)。

**2014年3月女子班急願のユニフォーム** 長野本部長を迎えての年度訓練に際し、男子の長袖Tシャツと併せ、女子班のポロシャツを制作した。

**2015年3月救急救命法講習** 板倉本部長を迎えての年度訓練に名瀬消防から署員を派遣していただき心臓マッサージやAEDの使い方などを学んだ。

**2015年8月災救隊幹部研修会で加世田教区長が講話** 災救隊本部主事、全国の教区隊長・副隊長を対象に行われているもの。加世田誠教区長(当時)は2011年の出動に際し現地に駆け付け、車両誘導のひのきしんなどに参加。隊



今後はというと、災救隊の年齢も上がってきて、若い人たちがなかなか育たないという中ではありますが、それぞれの経験を生かしていけたらと思います。

自衛隊が奄美にも駐屯しましたので、大きな災害の時にはまず自衛隊、我々は人手というか、人的な援助ができればと思っています。

私も13年間隊長を務めさせていただき、今回のミニ訓練が終われば一隊員に降格となりますが(笑)、まだまだ足腰は大丈夫ですので、使っていただける場があれば使っていただいて、これからも共にひのきしんに励みたいものと思います。

13年間本当にありがとうございました。うちのカミさんにも御礼申し上げます。これからは井上康広隊長ともども勇んで勤めさせていただきたいと思っています。

の活動に加え、その折の縁からその年の夏のこどもおちばがえりに現地から38人が参加したエピソード披露、好感。

**2016年熊本地震** 5月5～8日の第4次隊に久保隊長、加世田支部長、井上康広・三津井孝洋隊員、同20日～23日の第9次隊に松岡晋隊員、同28～31日の第12次隊に徳之島の西田三代次隊員と児玉健良隊員、6月3～6の第14次隊に重宗勝儀・恵松郎隊員、6月12～15日の第17次隊には萩原浩彦・森誠一郎隊員と、大島支部から計11人が出動。

**2018年1月27日笠利町笠利で19棟を焼く大火** 2月1日支部長の帰島を待って、隊長、井上隆文事務局長、加世田陽子女子班長が奄美市笠利支所を訪ね盛島事務所長、前田地域総務課長に出動の用意のあることを伝え、協力要請を受け、男子隊員25名と女子班21名が出動。有田組の2トンダンプと大島分教会のトラック、年度訓練に向けて災救隊本部からお借りしたチェーンソー5台を駆使して奮闘。

**3月佐大熊緑地のガヤに挑戦** 佐大熊緑地と道路との間の水路の上にガヤが繁茂し、見苦しかったが、長年にわたり同緑地を美化してきたボランティアでは手が終えず、年度訓練の対象とし、スッキリ！喜んで頂きました。